

センバツ「優勝が目標」

光星ナイン、県庁訪れ抱負

3月23日から始まる第91回選抜高校野球大会に出場する八戸学院光星の硬式野球部が4日、青森県庁を訪れ、佐々木郁夫副知事に全国制覇への意気込みを語った。

同校は昨年秋季の県大会で優勝、続く東北大会も制覇し、1月25日のセンバツ選考委員会で3年ぶり10度目の出場が決まった。

この日は、仲井宗基監督や小坂貴志部長、武岡龍世主将をはじめ20人の部員らが訪れた。

仲井監督は「今年のチームは日本一を狙える力を持つ



全国制覇に向け、佐々木郁夫副知事（前列右）と共にガッツポーズする八学光星ナインら＝4日、青森県庁

っている。平成最後のセンバツで結果を残したい」と強調。

武岡主将は「優勝は悲願の目標。胸を張って戦ってきた」と決意を新たにしました。

佐々木副知事は「日頃の練習の成果を発揮して、大いに頑張ってもらいたい」と激励した。

（向中野一樹）